



ネイチャーセンターだより

2020年11・12月号

新・いきもの図鑑



左：幼鳥、右：成鳥

オオハクチョウ（カモ科）

オオハクチョウは、ロシアなどのユーラシア大陸の北部で子育てをし、日本には、越冬のために渡ってきます。体重が約10kgと日本で見られる鳥の中では最重量級のオオハクチョウが3,000km以上の距離を渡ると考えると驚きます。

根室市では、春(3～4月)と秋(10月～12月)の渡り途中に多くが立ち寄り、少数が越冬します。風蓮湖は、国内有数のオオハクチョウの渡来地で、過去には8,000～10,000羽もの記録がありますが、近年は1,500羽ほどです。

食べ物は、植物が多く、風蓮湖内では、水底に生えるアマモという海草をよく食べています。

【参考文献】

- 神山和夫. 2015. オオハクチョウ. Bird Research News Vol.12 No.1.
- 松井茂. 1997. 日本動物大百科第3巻鳥類I. 平凡社. 東京.
- 三浦二郎. 1980. 風蓮湖を国際保護湿地に. 日本の白鳥No.7.

オオハクチョウの渡り、今年は遅め？

今年もオオハクチョウが風蓮湖・温根沼に渡ってきました。初認日（シーズンの最初に観察された日）は10月12日で、例年より4日ほど遅い記録でした。

当センターは、毎年、秋（10月～11月）と春（3月）に風蓮湖・温根沼でオオハクチョウの個体数調査をしています。10月22日、今季1回目の調査では、392羽（成鳥332羽、幼鳥60羽）でした。これは、例年の同時期の記録と比べると大変少なく、過去4番目に低い記録でした（1995年～2020年）。11月6日の2回目の調査では、1,614羽（成鳥1,399羽、幼鳥213羽、不明2羽）と例年並みになりました。

10月下旬に個体数が少なかった原因は、よく分かりませんが、初認日が遅かったことから、おそらく渡来が遅れていたのだらうと思われます。

NEWS

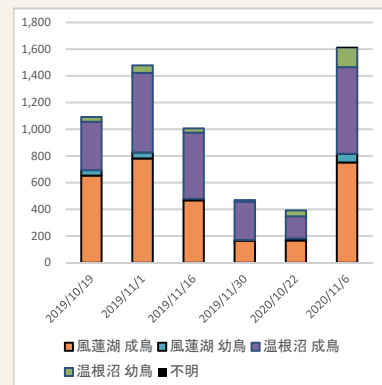
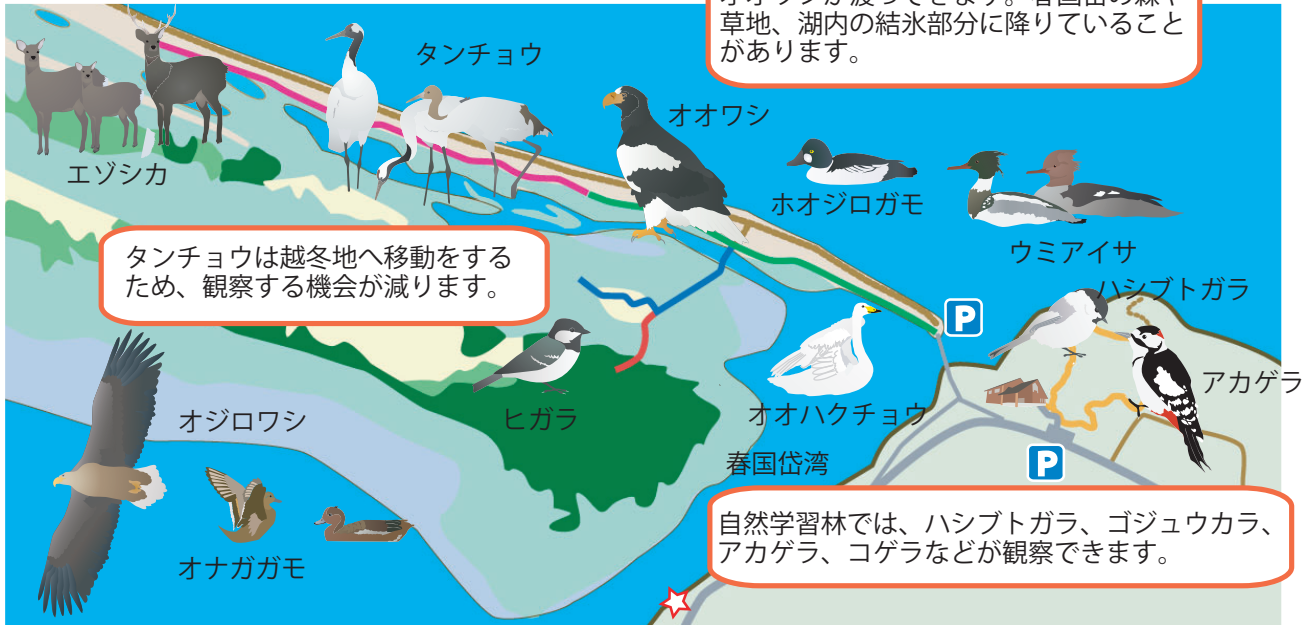


図1 2019年秋のオオハクチョウのカウント数の推移と2020年のカウント数の推移



2020年11月6日、春国岱で撮影

見どころMAP



オオワシが渡ってきます。春国岱の森や草地、湖内の結氷部分に降りていることがあります。

タンチョウは越冬地へ移動をするため、観察する機会が減ります。

自然学習林では、ハシブトガラ、ゴジュウカラ、アカゲラ、コゲラなどが観察できます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

11・12月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	11月	+	立枯木の枝に止まっているところや砂丘上に降りているところが見られる。12月になると、観察する機会が増えてくる。
	12月	○	
タンチョウ	11月	○	春国岱では、幼鳥1羽のいる家族3羽が観察されており、木橋以西の湿地で採餌している様子が時々観察できる。12月には、越冬のため釧路地方へ移動する。
	12月	+	
オオハクチョウ	11月	◎	例年、最も数が多くなる11月上旬～中旬には、風蓮湖・温根沼全体で約1,000羽が観察できる。厳冬期、多くは本州へ移動し、根室では少数のみが越冬する。
	12月	○	
カモ類	11月	○	11月、春国岱湾では、2,000羽を超えるカモ類が観察できる。12月は、多くの種類が南へ渡っていくため、数が減っていくが、根室湾では、クロガモやウミアイサ、ホオジロガモなどの海ガモ類がよく見られるようになる。
	12月	+	
カモメ類	11月	◎	冬鳥のシロカモメとワシカモメが観察する機会が増える。ウミネコやユリカモメは、南へ渡っていくため見る機会が減る。オオセグロカモメは、1年中見られる。
	12月	○	
春国岱の森	11月	アカエゾマツコースでは、ヒガラやハシブトガラなどが観察できる。また、運が良いとクマガエラに出会うことがある。※シマエナガは、今年はあまり見かけない。	
	12月		
自然学習林	11月	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。※シマエナガは、今年はあまり見かけない。	
	12月		

「高病原性鳥インフルエンザ」ってなんだ？

2020年11月現在、野鳥のフンや死んだニワトリから「高病原性鳥インフルエンザ」のウイルスが見つかったことが報道されています。「高病原性鳥インフルエンザ」って、いったいどんな病気なんでしょうか？

ふつうのインフルエンザとまぎらわしいのですが、「鳥インフルエンザ」は、基本的に鳥どうし（主にカモ類）に流行する病気です。これには多くのタイプがあるのですが、ニワトリにうつると重い症状になり死ぬこともある特殊なタイプのものを、「高病原性」と呼んでいて、日本では数年おきに発生しています。高病原性鳥インフルエンザは、通常の野鳥観察で野鳥から人にうつったり、また加熱された鶏肉や卵を食べることで人にうつったりする病気ではありません。

しかし、ニワトリを飼育している農場にこのウイルスが入ると、ニワトリが多数死んでしまう他、病気が広がるのを防ぐ目的で同じ農場内のニワトリを殺処分することが法律に定められており、それが何万羽になる場合もあって経済的な影響が大きいのです。ですから、ウイルスが含まれている鳥のフンや羽毛を踏んだ人や車が、農場にウイルスを運んでしまうといったことは、絶対に避けなければいけません。ニワトリだけではなく、家庭や動物園で飼われている鳥にも、病気がうつるおそれがあります。また、ふつうの鳥インフルエンザでは死なないハクチョウ類、ツル類などの水鳥や、それらの死体を食べるワシタカ類やフクロウ類も、高病原性鳥インフルエンザにより野外で死亡することがあります。

こうした事態を防ぐため、春国岱などの水辺で野外観察をする場合には、当面、次のようなことに注意する必要があります。

1. 生きている野鳥や野鳥の死体には、素手でさわらない。
2. 野鳥のフンや羽毛をできるだけふまない、さわらないようにする。もしさわった場合は、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 野外観察の後には、くつの底や車のタイヤをしっかりと洗い、アルコールやうすめた塩素系の漂白剤などで消毒する。帰りに動物園や農場には立ち寄らない。（ネイチャーセンターでは、玄関に靴底用の消毒マットを設置していますのでご利用ください。）
4. 弱った野鳥や死んだ鳥を見つけた場合は、可能なら、根室振興局に連絡をする（電話 0153-23-6823）。

高病原性鳥インフルエンザは、自然の中にあつたものではなく、人が大量に鳥を飼うことにより、鳥インフルエンザの毒性を強めてしまった結果、うまれた病気である、と考えられています。コロナ禍下で大変な中ですが、しばらくの間、上のようなお気づきも合わせてお願いいたします。（文責：チーフレンジャー 古南幸弘）

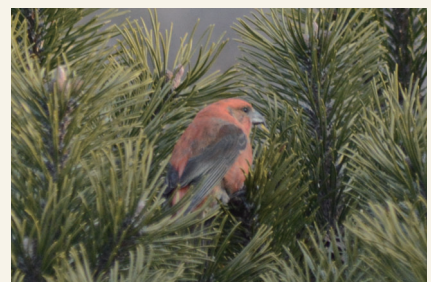
春国岱クイズ

10月26日、アカエゾマツコースで、森の中から「チュップ、チュップ」といった声が聞こえました。声の主はどうやらイスカのようなのです。その数日後、市内の明治公園でもイスカの群が目撃されています。

イスカはマツ類などの針葉樹の種子を食べるために特化した、嘴の先が交差した特殊な形をしており、針葉樹の種子の豊富な場所を探してさまよい歩くような、変化の多い不規則な渡りをするということでも知られています。オオワシやオオハクチョウのように、毎年必ず見られるわけではないのです。繁殖地の周辺で食べものがなくなれば食べものの多い場所に移動して越冬し、そこに針葉樹の種子が多ければ、そのまま繁殖してしまうこともあります。

さて、このイスカの渡りのような、不規則な渡りのしかたを、何と言うのでしょうか？

- ① イラプション
- ② アトラクション
- ③ クラクション



2020年1月23日、東梅駐車場で撮影

春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集！

ねむろバードランドフェスティバル 2021

(根室市・根室市観光協会主催) 1月29日(金)～2月1日(月)
おまかせガイドツアー・観察会：参加者募集～1月8日(先着順)

【おまかせガイドツアー】

・根室近辺の探鳥地をめぐるガイドつきのバスツアー／クルーズ。参加費 6,000～10,000円。

【観察会】

- ・スノーシューで小さな森を歩こう」案内役：ねむろトコロジストの会
1月30日(土)・31日(日) 13:30～14:30 春国岱ネイチャーセンターで。
- ・風蓮湖ワシワシ観察会」案内役：ネイチャーセンターレンジャー
1月30日(土)・31日(日) 10:00～11:00 道の駅スワン44 ねむろで

- ・いずれも 参加費 500円(中学生以下は無料)／事前申込制(定員 20人)
- ・根室駅から無料のシャトルバスが利用できます。
- ・ねむろの野鳥イラストコンテスト：根釧地域で見られる野鳥を題材にした作品をはがきサイズの紙に描いて、根室市観光協会に送付。1人1作品。各種賞あり。作品はネイチャーセンター、総合文化会館等で展示。
応募×切 12月25日(金) 必着
- ・行事のお申込み・コンテストの応募等詳しくは⇒ <https://nemurobirdlandfes.wixsite.com/nblf2021>



募集中!

ボランティア「スルク」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習木の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ ① 英語では irruption 「侵入」と訳されることもあります。昨年はイスカがたくさん渡ってくる「当たり年」だったのですが、2年連続で今年も多いのかもしれませんが。

出典：中村浩志. 1997. アトリ科～日本動物大百科第4巻. 平凡社.
山岸哲他(監修). 2004. 鳥類学辞典. 昭和堂.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間 9:00～16:30)

11月4・5・11・18・24・25日 12月2・9・16・23・29・30・31日

1月1・2・3・6・12・13・20・27日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録